

(3) 全数把握対象感染症

ア ウイルス検査の概要

(ア) SFTSウイルス

保健所の積極的疫学調査により10名の検査を実施した。その内、2名からSFTSウイルスが検出された。県内で初めての検出例となった。

(イ) 急性脳炎に係るウイルス（ノロウイルス、アデノウイルス、エンテロウイルス、インフルエンザウイルス及びヘルペスウイルス）

急性脳炎に係る保健所の積極的疫学調査により上記について1名の検査を実施した。いずれのウイルスも検出されなかった。

(ウ) 麻しんウイルス

保健所の積極的疫学調査により8名の検査を実施したが、麻しんウイルスは検出されなかった。

(エ) 風しんウイルス

保健所の積極的疫学調査により7名の検査を実施したが、風しんウイルスは検出されなかった。

(オ) 新型コロナウイルス感染症

保健所の積極的疫学調査により6,126名の検査を実施した。その内、87名から新型コロナウイルスが検出された。

イ リケッチア検査の概要

各保健所の積極的疫学調査により27名の日本紅斑熱の検査を実施した。その内11名から日本紅斑熱リケッチアが検出された。

ウ 細菌検査の概要

(ア) 腸管出血性大腸菌

県内で腸管出血性大腸菌患者（健康保菌者を含む）は26名発生した。当所では、患者（陰性化確認）と患者の接触者（結果陽性の場合の陰性化確認も含む）について72検体（便）の検査を実施した。その結果、6件の腸管出血性大腸菌を分離・同定し、これらの血清型は、O26、O103、O111、O型別不明であった。また、当所で分離・同定された菌株6株と他所で分離・同定された菌株2株について毒素遺伝子を検査したところ、「VT1・VT2」が3株、VT1が5株検出された（P36表16参照）。

(イ) 侵襲性肺炎球菌感染症

保健所の積極的疫学調査により1件の血清型検査を国立感染症研究所へ委託し、その結果、非ワクチン株（13価肺炎球菌結合ワクチンに係る）であった。

(ウ) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

発生届のあった菌株7件について検査を実施したところ、いずれも4つの遺伝子型（IMP型、NDM型、KPC型、OXA-48型）に該当しなかった。

表 16 腸管出血性大腸菌感染症発生状況(令和2年1月~12月)

No.	検出月日	当所検査	居住地域	性別	年齢※	症状の有無	O血清型	Vero毒素型
1	3月28日	—	西部	女	幼児	有	1 5 7	VT1・VT2
2	5月25日	—	西部	男	幼児	有	1 0 3	VT1・VT2
3	5月29日	分離・同定	西部	男	30歳代	なし	1 0 3	VT1
4	6月11日	—	中部	男	40歳代	有	1 5 7	VT1
5	6月16日	—	中部	男	幼児	有	1 1 1	VT1・VT2
6	6月19日	分離・同定	中部	男	幼児	有	1 1 1	VT1・VT2
7	6月20日	分離・同定	中部	女	30歳代	なし	型別不明	VT1
8	6月23日	—	中部	女	90歳代	有	1 2 8	不明
9	6月26日	—	東部	女	80歳代	有	1 5 7	VT1・VT2
10	6月30日	—	中部	女	40歳代	有	1 5 7	VT1・VT2
11	7月8日	—	中部	男	10歳代	有	8	不明
12	7月29日	—	中部	女	乳児	有	型別不明	不明
13	8月6日	—	中部	男	50歳代	なし	型別不明	不明
14	8月19日	—	中部	女	10歳代	有	2 9	不明
15	8月19日	—	中部	男	50歳代	なし	1 0 3	不明
16	9月10日	—	中部	女	40歳代	なし	1 2 5	不明
17	9月10日	—	西部	女	幼児	有	2 6	VT1
18	9月14日	—	東部	男	小学生	有	1 5 7	VT2
19	9月17日	分離・同定	西部	男	30歳代	なし	2 6	VT1
20	9月17日	分離・同定	西部	女	20歳代	なし	2 6	VT1
21	9月17日	分離・同定	西部	男	幼児	有	2 6	VT1
22	9月17日	—	西部	男	30歳代	なし	1 1 1	VT1・VT2
23	10月8日	—	中部	男	10歳代	有	1 0 3	VT2
24	10月23日	毒素型	中部	男	10歳代	有	1 5 7	VT1・VT2
25	10月28日	—	中部	女	50歳代	なし	1 4 6	VT2
26	12月6日	毒素型	東部	男	幼児	有	1 5 7	VT1・VT2

※表中の着色部分はそれぞれ同一事例を示す。それ以外は個別事例

※乳児：1歳未満 / 幼児：1歳以上